問題 1

問1

損　益　計　算　書　　（単位：円）

Ⅰ　売　上　高		（　　）
Ⅱ　売　上　原　価		
1．月初製品棚卸高	（　　）	
2．当月製品製造原価	（　　）	
合　計	（　　）	
3．月末製品棚卸高	（　　）	
差　引	（　　）	
4．原　価　差　額	（　　）	（　　）
売上総利益		（　　）
Ⅲ　販売費及び一般管理費		（　　）
営　業　利　益		（　　）

問2

損　益　計　算　書　　（単位：円）

Ⅰ　売　上　高		（　　）
Ⅱ　変動売上原価		
1．月初製品棚卸高	（　　）	
2．当月製品製造原価	（　　）	
合　計	（　　）	
3．月末製品棚卸高	（　　）	
差　引	（　　）	
4．原　価　差　額	（　　）	（　　）
変動製造マージン		（　　）
Ⅲ　変動販売費		（　　）
貢　献　利　益		（　　）
Ⅳ　固　定　費		
1．加　工　費	（　　）	
2．販売費・一般管理費	（　　）	（　　）
直接原価計算の営業利益		（　　）
固定費調整額		
＋）加算項目		
月末製品に含まれる固定加工費	（　　）	
月末仕掛品に含まれる固定加工費	（　　）	（　　）
－）減算項目		
月初製品に含まれる固定加工費	（　　）	
月初仕掛品に含まれる固定加工費	（　　）	（　　）
全部原価計算の営業利益		（　　）

問題 2

損益計算書（全部原価計算）　（単位：円）

売　上　高		（　　）
売 上 原 価		
月初製品棚卸高	（　　）	
当月製品製造原価	（　　）	
合　計	（　　）	
月末製品棚卸高	（　　）	
差　引	（　　）	
原 価 差 異		
第 1 工 程		
予 算 差 異	（　　）	
操 業 度 差 異	（　　）	
小　計	（　　）	
第 2 工 程		
予 算 差 異	（　　）	
操 業 度 差 異	（　　）	
小　計	（　　）	
差 異 合 計	（　　）	（　　）
売 上 総 利 益		（　　）
販売費及び一般管理費		（　　）
営 業 利 益		（　　）

損益計算書（直接原価計算）

（単位：円）

売　上　高		（　　）
変動売上原価		
月初製品棚卸高	（　　）	
当月製品製造原価	（　　）	
合　計	（　　）	
月末製品棚卸高	（　　）	
差　引	（　　）	
変動製造原価差異		
第１工程	（　　）	
第２工程	（　　）	
差異合計	（　　）	（　　）
変動製造マージン		（　　）
変動販売費		（　　）
貢献利益		（　　）
固　定　費		
第１工程加工費	（　　）	
第２工程加工費	（　　）	
販　売　費	（　　）	
一般管理費	（　　）	（　　）
営業利益		（　　）

固定費調整

（単位：円）

直接原価計算の営業利益		（　　）
加算項目		
月末仕掛品固定費		
第１工程	（　　）	
第２工程	（　　）	
月末製品固定費	（　　）	（　　）
控除項目		
月初仕掛品固定費		
第１工程	（　　）	
第２工程	（　　）	
月初製品固定費	（　　）	（　　）
全部原価計算の営業利益		（　　）

問題 3

損　益　計　算　書　　（単位：円）

Ⅰ　売　上　高			(　　)
Ⅱ　標準変動売上原価			(　　)
[　　]			(　　)
Ⅲ [　　]			(　　)
[　　]			(　　)
Ⅳ　標準変動費差異			
1．価格差異	[　](　　)		
2．数量差異	[　](　　)		
3．賃率差異	[　](　　)		
4．時間差異	[　](　　)		
5．予算差異	[　](　　)		
6．能率差異	[　](　　)		
7．変動販売費予算差異	[　](　　)	[　](　　)	
実際貢献利益			(　　)
Ⅴ　固　定　費			
1．固定製造間接費	(　　)		
2．固定販売費及び一般管理費	(　　)		(　　)
直接原価計算方式の営業利益			(　　)
固定費調整額		[　](　　)	
全部原価計算方式の営業利益			(　　)

（注）上記の［　］内には適切な名称を、（　　）内には金額（単位：円）を、［　　］内には＋または－の符号を記入しなさい。

問題 4

7月の予想製造原価	[　　]	円
7月の予想販売費・一般管理費	[　　]	円

問題 5

a ［　　］円／時

b ［　　］円

問題 6

問１

売　上　高 ［　　］円　　販 売 数 量 ［　　］個

問２

安全余裕率 ［　　］％

問３

売　上　高 ［　　］円　　販 売 数 量 ［　　］個

問４

売　上　高 ［　　］円　　販 売 数 量 ［　　］個

問題 7

問１　①　年間の損益分岐点の販売量 ［　　］個

　　②　安全余裕率 ［　　］％

問２　年間目標営業利益額7,700,000円を達成する年間目標売上高 ［　　］円

問３　①　税引前の年間目標経常利益額 ［　　］円

　　②　年間目標使用総資本経常利益率15％を達成する年間目標販売量 ［　　］個

問４　年間目標使用総資本経常利益率15％を達成する年間目標販売量 ［　　］個

問題 8

問１

(1) 製品Ａ ［　　］ 個

製品Ｂ ［　　］ 個

製品Ｃ ［　　］ 個

(2) 製品Ａ ［　　］ 個

製品Ｂ ［　　］ 個

製品Ｃ ［　　］ 個

問２

製品Ａ ［　　］ 円

製品Ｂ ［　　］ 円

製品Ｃ ［　　］ 円

問題 9

問１　損益分岐点の販売量

製 品 Ａ ［　　］ 個

製 品 Ｂ ［　　］ 個

問２　最適セールス・ミックス

製 品 Ａ ［　　］ 個

製 品 Ｂ ［　　］ 個

問３　最適セールス・ミックスとそのときの営業利益額

製 品 Ａ ［　　］ 個

製 品 Ｂ ［　　］ 個

営業利益 ［　　］ 円

問題 10

問１

製 品 A ［　　］ 個

製 品 B ［　　］ 個

問２

営業利益 ［　　］ 円

問３

製品Ａ１個あたりの貢献利益が ［　　］ 円より少なくなれば、最適セールス・ミックスは変化する。

問題 11

1.

×2年度予定損益計算書　（単位：万円）

売上高	（　　）
売上原価	（　　）
売上総利益	（　　）
販売費・一般管理費	（　　）
営業利益	（　　）
支払利息	（　　）
経常利益	（　　）
法人税等	（　　）
当期純利益	（　　）

2.

×2年度予定貸借対照表　（単位：万円）

流動資産		流動負債	
現金	（　　）	買掛金	（　　）
売掛金	（　　）	短期借入金	（　　）
製品	（　　）	[　　]	（　　）
原料	（　　）	[　　]	（　　）
その他	（　　）	流動負債合計	（　　）
流動資産合計	（　　）	固定負債	
固定資産		社債	（　　）
土地	（　　）	負債合計	（　　）
建物・設備	（　　）	純資産	
減価償却累計額	（△　　）	資本金	（　　）
固定資産合計	（　　）	利益準備金	（　　）
		任意積立金	（　　）
		繰越利益剰余金	（　　）
		純資産合計	（　　）
資産合計	（　　）	負債・純資産合計	（　　）

（注）上記の財務諸表の[　　]内に勘定科目名を、（　　）内には金額を記入して予定財務諸表を完成させなさい。

問題 12

（注）下記の財務諸表における（　　）内に計算した数値を記入し、予定損益計算書と予定貸借対照表を完成させなさい。

1．×1年度予定損益計算書（単位：円）

	1月	2月
売上高	（　　）	（　　）
変動売上原価	（　　）	（　　）
変動製造マージン	（　　）	（　　）
変動販売費	（　　）	（　　）
貢献利益	（　　）	（　　）
固定費		
加工費	（　　）	（　　）
販売・一般管理費	（　　）	（　　）
固定費計	（　　）	（　　）
営業利益	（　　）	（　　）
支払利息	（　　）	（　　）
経常利益	（　　）	（　　）

2．×1年度予定貸借対照表（単位：円）

	1月末	2月末
流動資産		
現金	（　　）	（　　）
売掛金	（　　）	（　　）
製品	（　　）	（　　）
原料	（　　）	（　　）
流動資産計	（　　）	（　　）
固定資産		
土地	（　　）	（　　）
建物・設備	（　　）	（　　）
固定資産計	（　　）	（　　）
資産合計	（　　）	（　　）

流動負債		
買掛金	(　　)	(　　)
借入金	(　　)	(　　)
流動負債計	(　　)	(　　)
固定負債	(　　)	(　　)
純資産		
資本金	(　　)	(　　)
資本剰余金	(　　)	(　　)
利益剰余金	(　　)	(　　)
純資産計	(　　)	(　　)
負債・純資産合計	(　　)	(　　)

問題 13

事業部別予算損益計算書　（単位：円）

Ⅰ　売上高	(　　)
Ⅱ　変動売上原価	(　　)
変動製造マージン	(　　)
Ⅲ　変動販売費	(　　)
貢献利益	(　　)
Ⅳ [　　]	(　　)
[　　]	(　　)
Ⅴ [　　]	(　　)
[　　]	(　　)
Ⅵ　本社費配賦額	(　　)
事業部営業利益	(　　)

（注）□内には適当な語句を、（　　）内には適当な金額を記入しなさい。

問題 14

問1

損　益　計　算　書　　（単位：円）

Ⅰ	売　上　高	（　　）
Ⅱ	変動売上原価	（　　）
	変動製造マージン	（　　）
Ⅲ	変動販売費	（　　）
	貢献利益	（　　）
Ⅳ	□	（　　）
	□	（　　）
Ⅴ	□	（　　）
	□	（　　）
Ⅵ	共通固定費配賦額	（　　）
	事業部営業損失	（　　）

（注）上記の□内には適切な名称を、（　　）内には金額を記入しなさい。

問2

投下資本利益率　□　%

残余利益　□　円

問3

投下資本利益率　□　%

残余利益　□　円

問４

⑴　Ｃ事業部長は、この投資案を採用（する・しない）。なぜなら、この投資案を採用することで投下資本利益率が（増加・減少）するからである。
⑵　Ｃ事業部長は、この投資案を採用（する・しない）。なぜなら、この投資案を採用することで残余利益が（増加・減少）するからである。
⑶　全社的な観点から考えた場合、この投資案は採用すべきで（ある・ない）。なぜなら、この投資案を採用することでＣ事業部の残余利益とともに全社的残余利益も（増加・減少）するからである。

（注）（　　）内の不要な文字を二重線を引いて消しなさい。

問題 15

問１

税引後加重平均資本コスト率 [　　] ％

問２

	代替案１	代替案２	代替案３
⑴	千円	千円	千円
⑵	千円	千円	千円
⑶	台	台	台
⑷	％	％	％
⑸	％	％	％

問３

代替案１	代替案２	代替案３
台	台	台

問４

代替案１	代替案２	代替案３
千円	千円	千円

問題 16

問1　（単位：千円）

	製品 α	製品 β	合計
売上高	（　　）	（　　）	（　　）
変動費			
製造原価	（　　）	（　　）	（　　）
販売費	（　　）	（　　）	（　　）
合計	（　　）	（　　）	（　　）
貢献利益	（　　）	（　　）	（　　）
個別自由裁量製造固定費	（　　）	（　　）	（　　）
管理可能利益	（　　）	（　　）	（　　）
個別拘束製造固定費	（　　）	（　　）	（　　）
製品貢献利益	（　　）	（　　）	（　　）
共通固定費			
拘束製造固定費			（　　）
自由裁量販売・一般管理固定費			（　　）
拘束販売・一般管理固定費			（　　）
合計			（　　）
営業利益			（　　）

問2

売上高	標準変動製造原価	標準変動販売費	実際貢献利益
千円	千円	千円	千円

問3

差異分析表(A)　（単位：千円）

	製品 α	製品 β	合計
予算営業利益	——	——	126,000
販売価格差異	[　]	[　]	[　]
販売数量差異	[　]	[　]	[　]
変動費差異	[　]	[　]	[　]
固定費差異	——	——	[　]
実際営業利益	——	——	61,000

差異分析表(B)　販売数量差異の分析　　（単位：千円）

	市場総需要量差異	市場占拠率差異	合計
製品 α	[　]	[　]	[　]
製品 β	[　]	[　]	[　]

差異分析表(C)　変動費差異の分析　　（単位：千円）

	製品 α	製品 β	合計
直接材料費差異	[　]	[　]	[　]
直接労務費差異	[　]	[　]	[　]
変動製造間接費差異	[　]	[　]	[　]
変動販売費差異	[　]	[　]	[　]
合　　計	[　]	[　]	[　]

（注）各差異分析表の［　　］内には、不利差異であれば「U」、有利差異であれば「F」と記入しなさい。なお差異が０の場合は「—」と記入すればよい。

問４

①		②		③		④		⑤		⑥	